

憲法で明確に戦争を放棄した我が国

しかし:

◆故田中角栄氏の言葉

戦争を知っている世代が政治の中枢にいるうちは心配ない。平和について議論する必要もない。だが戦争を知らない世代が政治の中枢になった時はとても危ない。

◆麻生太郎元総理

憲法は、ある日気づいたら、ワイマール憲法が変わって、ナチス憲法に変わっていたんですよ。だれも気づかないで変わった。あの手口学んだらどうかね。

◆安倍晋三元総理

ぜひ自分の代で憲法改正をやりたい。日本という国は独力で守れない。

私や妻が関係していたということになれば、間違いない総理大臣も国会議員もやめるとはつきりと申し上げておきたい。

《国会虚偽答弁が118回 衆院調査局調べ》

皆んで選んだ
今月の秀句

日本をロシア化させぬこの憲法
逆らえば排除が待っている政治
被爆地に生まれて核を乞う首相

寺内 撤乗
遠田亀公子

尉

「プーチンの戦争」が終わらない。その悲劇を隠れ蓑にして着々と改憲準備が進められている。日本を戦争する国にしてはならない。人として逆らおう。声をあげよう。(周)

◆ 目次 ◆

川柳互選・課題吟「政」	2
自由吟	3
推薦句の短評	5
おたより	8
ほのぼの川柳	9
川柳連作・中日新聞投稿	9
亀公子の《川柳ひと言》	10
鶴彬川柳大賞募集	11
竹久夢二「東京災難畫信」⑧	12
戦争前夜抄《39》	13
鈴木・大学追放④	14
治安維持法犠牲者の提訴	16
編集後記を兼ねて	16

来月例会案内

6月例会
投稿締切
課題「声」
自由吟
自選句、自解筆もよろしく。

6月23日(木)

20日(月)

3句以内

5句以内

5月の 川柳互選

◆ 点の付け方

推薦句◎…2点、準推薦句○…1点
◎3句以内。○全体の半数以内。

◆ 課題吟「政」(互選)

一人 3句以内吐

(投句14人／16人の互選)

「短速奨励」社会のきずなどここにある	ふさ子
年収少々埃(ほり)を誇りゆつたりと	未知子
1 政界を撫で切りすつとしましたか	ダン吉
2 クナシリの政治やつぱりロシア船	一角
2 まるでカルト参政党の黨員集め	高坊
2 気をつける参政党の似非野党	高坊
2 政よりも政局がらみのみ	尉
3 政策は命を護る一番に	宏助
3 助成せよ自分の足で立ちなさい	ダン吉
3 政その語彙しつかり胸に置け	ふさ子

4 ₁ 帯に短く襷に長い政(まつりごと)	未知子
4 政府の失政あらわにするコロナ	尊柳
5 百万円はした金だとこの政治	一角
5 聞く力の岸田政権敵もない	ひろみ
5 田中政治の悪を曝いた知の巨人	尊柳
6 ₁ 政権にすり寄って行く蠅、蠅、蠅	亀公子
6 ₂ プーチン政迫気づいてしまった民は今	未知子
6 ₁ 選挙権政権拒否をする力	宏助
6 ₁ 声上げる不明十一兆円悪政に	高坊
7 与党席隅々探せど鷹ばかり	白真弓
7 演説の政策は立派実施不明	ひろみ
7 ₁ 国会に憂国の士の影もなく	白真弓
7 ₁ 公約はほったらかした一覧表	立東爺
7 ₁ 百歳祝銀杯要らず現金で	ひろみ
7 ₁ 百万は月収ですよ議長殿	ダン吉
8 暴政ヘレールを敷いて一直線	亀公子
8 ₁ 追認の政治で日本難破船	撤棄

8 ₁	議員達政治ごまかしうまくなり	ふさ子
9	政治家のいない議会の空騒ぎ	白真弓
9 ₁	農政はいつしかノー政コメ食えず	北の山
9 ₂	カニサケはロシアから買う政ごと	一角
10	プーチンの政略世界を敵にする	尊柳
10 ₁	善政も治世も死語となる時代	尉
10 ₁	政権は平和外交そっちのけ	宏助
10 ₃	一票で変わる政治の色彩	尉
10 ₃	狙ってくれと言わんばかりの攻撃論	撤乗
10 ₃	独裁はもの申すこと罪にする	立東爺
11 ₂	子供が増えない国で増えてく防衛費	撤乗
12 ₂	外敵に備えた軍が民を撃つ	立東爺
14 ₃	逆らえば排除が待っている政治	亀公子

◆ 点数表記について

点数右下の小さい数字は、2点句◎に推した方の数です。

◆ 自由吟（互選）

一人 5 句以内吐

(投句 14 人 / 16 人の互選)

2	今更に外でのマスクは要らないと	高坊
2	ものごとを整え決めるまつりごと	ふさ子
2	シリア子ら刑務所避難壁怖い	ひろみ
1	騙された注射の影に人口削減	高坊
1	八歳から赤子背に田へ乳飲まし	ひろみ
1	露情報メディアの大半西側で	高坊
1	満開の側で出番待つ葉桜	ひろみ
1	毒注射打てば打つほどかかりやすい	高坊
2	あの時も大量破壊兵器はなかったね	高坊
2	女は家庭福祉削って軍費あげ	白真弓
2	プーチンは、三面楚歌に耳ふさぎ	未知子
2	一枚の扉の向こうクラスター	撤乗
2	ふる里に飛行機雲から墜ちる音	立東爺
2	ニッポンのミサイル君が狙われて	一角

2	スマホ手に解ったつもり戦災禍	白真弓	6	神童みな水漬く屍となりし国	尉
3	ロシア人戴く人を間違えた	未知子	7	黒海が閉じ小麦倉庫に鳩一羽	立東爺
3	不屈のペンロでは今日も言っている	ダン吉	7	へそくりの1円貯金に手数料	北の山
3	コロナの土産近所トラブルマスクして	未知子	7	バス廃止不便さ増える過疎地域	ひろみ
3	阿武町で知るギャンブルの恐ろしさ	撤棄	7	平和への仲介欲しいウクライナ	尊柳
4	さあ歌え街の角辺で反戦歌	一角	7	みどりの日百年の大樹震えてる	白真弓
4	オミクロン春季旅行の邪魔をする	尊柳	7	ミャンマー軍民に銃口神知らず	未知子
4	連日の暗いニュースに気が滅入る	尊柳	7	若人よ第九条を考えよう	ふさこ
4	「ひまわり」と「ビルマの豎琴」借りてきた	立東爺	7	「核共有」生きているのか元総理	ダン吉
4	プーチンが核を口に出す戦争史	宏助	7	国民はフェイクニュースで口を閉じ	宏助
5	つかまった下っ端の罪は裁判し	一角	7	知ってほしい日本に戦争のない平和	ふさこ
5	原発が大きな顔で動き出す	宏助	7 ₁	改憲の政治列車に乗る平和	亀公子
5 ₁	新緑の彼方に硝煙の空よ	ダン吉	8	反戦に老骨の身をムチ打って	一角
5 ₁	元総理病も癒えて会長(快調)です	未知子	8	銃弾は民間人が見分け無し	宏助
5 ₁	ええ加減にせんかロシアよ今日も詠む	ダン吉	8	夕食に悲惨な戦争見る光景	宏助
6	ハンストの若き闘志と共鳴し	白真弓	8 ₁	プーチンの首に鈴つけられぬ国連の無能	亀公子
6	海難へ如実に示す利益主義	尊柳	8 ₁	火事泥が軍事予算を倍などと	ダン吉

8 ₁	その戦争ゲームと違う血の臭い	立東爺
8 ₁	長期化へ睨見えぬウクライナ	尊柳
8 ₁	血の草原ヒマワリよ咲け地平線	立東爺
9	撤退の跡に累累市民の死	尉
9	独裁者国連憲章何のその	北の山
9 ₁	ヒトラーに学ぶプーチン麻生安倍	撤棄
9 ₂	改憲派の援軍になるロシア軍	撤棄
10 ₂	春闘のこぶしが街に捨ててある	亀公子
10 ₂	核共有に昔のポチが吠えまくる	亀公子
10 ₂	琉球の尊厳潰す辺野古基地	白真弓
11 ₂	玉砕を強いたる国の二枚舌	尉
11 ₃	敵つくり敵基地攻めて敵にされ	一角
11 ₃	外敵を煽りひたすら再軍備	尉
13 ₃	日本をロシア化させぬこの憲法	撤棄
13 ₃	恥の字がない辞書を引く独裁者	亀公子
14 ₄	被爆地に生まれて核を乞う首相	尉

◎◎推薦句への短評◎◎

◆課題『政』.....

・帯に短く襷に長い政（まつりごと） 未知子

故事成語の批判力（尉）

・追認の政治で日本難破船 撤棄

難破しても責任なし（尉）

・プーチン政治気づいてしまった民は今 未知子

戦争反対の声をあげればひどい目にあう状況に声をあげられない民はいまどうしているのか気になります。（喜之）

・子供が増えない国で増えてく防衛費 撤棄

人口減（福祉切り）と国防費の増大。政府は何をしたいのか（白真弓）

・暴政ヘレールを敷いて一直線 亀公子

ドイツのようにいい憲法を持っけていても、後付けで独裁政治にもなる。日本もなりそう（白真弓）

・プーチンの政略世界を敵にする 尊柳

国連の事務総長にもあの8Mテーブルで対応した大統領。その人の支持が「80%」本当でしょうか（ダ

ン吉。

・百万は月収ですよ議長殿 ダン吉

ちなみに年収百万円以下の年金生活者はとくに女性にはこの他多いのです。細田議長はそれじゃないのではないか（一角）

・カニサケはロシアから買う政ごと 一角

ご都合政治の典型（尉）

笑っちゃいます。プーチンをボロクソに言っても、蟹や鮭をロシアから買いその袖にぶら下がって暮らしている私たちは情けない（ふや子）

・政権は平和外交そっちのけ 宏助

こんな時期こそ「平和外交」に国会議員が一致して世界へ足を運ぶべきだと思うが……。動かず！（亀公子）

・帯に短く襷に長い政（まつりごと） 未知子

故事成語の批判力（尉）

・追認の政治で日本難破船 撤棄

難破しても責任なし（尉）

・子供が増えない国で増えてく防衛費 撤棄

人口減（福祉切り）と国防費の増大。政府は何をしたいのか（白真弓）

・暴政ヘレールを敷いて一直線 亀公子

ドイツのようにいい憲法を持っていたても、後付で独裁政治にもなる。日本もなりそう（白真弓）

・プーチンの政略世界を敵にする 尊柳

国連の事務総長にもあの8mテーブルで対応した大統領。その人の支持が「80%」本当でしょうか（ダン吉）

・百万は月収ですよ議長殿 ダン吉

ちなみに年収百万円以下の年金生活者はとくに女性にはこの他多いのです。細田議長はそれ知らないのではないか（一角）

・カニサケはロシアから買う政ごと 一角

ご都合政治の典型（尉）

笑っちゃいます。プーチンをボロクソに言っても、蟹や鮭をロシアから買いその袖にぶら下がって暮らしている私たちは情けない（ふや子）

・政権は平和外交そつちのけ 宏助

こんな時期こそ「平和外交」に国会議員が一致して世界へ足を運ぶべきだと思いが…。動かず！（亀公子）

◆自由句……………

・敵つくり敵基地攻めて敵にされ 一角

とにかくはちゃめちゃ（尉）

・長期化へ睨見えぬウクライナ 尊柳

果てなき戦争へ（尉）

・元総理病も癒えて会長（快調）です 未知子

仮病も嘘八百の内（尉）

・プーチンの首に鈴つけられぬ国連の無能 亀公子

国連のシステム上、仕方ないかもしれないにしても何のために国連があるのか疑いたくなります（喜之）

・その戦争ゲームと違う血の臭い 立東爺

本当にゲームを楽しむかのように戦争が始まったことが大きなショックでした。テレビで見えていて腹が立ちます。日本人は核の人体実験をさせられたのだ。もつ

としつかりしないとダメだといつも思っています（ふさ子）

・改憲派の援軍になるロシア軍 撤棄

正に火事場泥棒的発言ー「核兵器の共有や軍事費予算の倍加…。この浅はかさは恐い。笑えぬ（ダン吉）

・春闘のこぶしが街に捨ててある 亀公子

句としての表現が強い 腰抜け春闘をスバリ（白真弓）

・被爆地に生まれて核をこつ首相 尉

広島選出の岸田総理殿へ、前のボケた安倍君にあおられて軍事費を二倍にすることより（バイデンにも付度）、平和の為に身を削ってくれ。お願い（亀公子）



おたより

◆坂本ふさごさんより

ウクライナ騒動以来の日本のテレビ、難民の親子コンサートを観て以来、本当に残り少ない生きている日々を一生懸命に生きようと思うと同時に、モヤモヤした怒りがあふれています。

何の会にでも参加して誰にでもいい顔をしている日本要人、本当に国のことを考えているのか。国民一人ひとりがしつかりしなくてはとすぐ思うのです。□先婆さんがんばるよ。平和を願って死にたくないのに死んでいった多くの霊に申し訳ないと思うのです。

デイケアの仲良しばあちゃんが「面白い、楽しい」と読んでくれますので、作り続けるしかないというところですよ（笑）。

◆足利尊柳さんより

5月24日（火）、「徹子の部屋」で「夏目漱石

の孫・エッセイスト・半藤未利子」（半藤一利夫人）の中で半藤一利さんの遺言が「墨子を読みなさい」だったそうですね。夫人もまだ読んでいないようですが、墨子は絶対的平和論者として興味深いとのこと。

◆岩佐ダン吉さんより

「義勇兵」に応募する体力も資力もない。なら避難民の受け入れは今の暮らして精一杯。せめて少額のカンパとスタンディングなどへの活動、そしてプラス「ペン」は剣より……。親しんだ川柳五・七・五であのプーチンに「一矢」を。

◆平野喜之さんより

憲法九条の大切さを、今こそあらためて学ばなければなりません。若い人たちにその大切さを伝えていかなければと思っています。

◆遠田亀公子さんより

最近気づいたことですが、どうも課題に皆さん力が入っていないですね。私的にはいい句が少な

ほのぼのの川柳

大会で泣き虫息子頑張れよ
反抗期娘の変化気になるよ
体重がなかなか減らず焦ります
ツツジ咲き紫陽花に化ける窓の外

神田 鯛
神田 鯛
神田 鯛
東 爺

川柳連作「神様とは何ぞや」 遠田 亀公子

鬼畜狂乱仮面剥がせば神の貌
神様が好きな血祭り火の大地
平和の火吹き消す神の思し召し
若者に銃を持たせる神の国
戦争は女神の子でも撃ち殺す
その昔アラヒトガミがいた日本
神様は独裁者しか味方せず
英霊の名をただけは神の人
神の子が無差別砲を乱射する
殺戮を神は正義とのたまわく

くらしの作文

2022.6.5

くって選ぶのに苦労します。逆に、自由吟の方はどれもいい句ばかりで選ぶがいがありました。

北陸中日新聞・くらしの作文に坂本富沙子さん投稿

一人の権力者の考えで、ウクライナの人々は振り回され、住むところも家族もバラバラにされる。あの戦争のころ、満州でのほんとは暮らしていた自分が今日まで生きてこられたのは、名もなき多くの温かい人々の助けがあったればこそである。

わけもわからぬうちに頭を丸刈りにされた日々。せっかく軍隊から帰ってきたと思っただけ、ソ連に抑留されてしまった父。顔を鍋ずみで真っ黒にして過ごしていた母。ひとつひとつが今でも心の中にしみついていて。

難民として押し出される人、次々とおそってくる爆弾

ツツジの不思議

坂本 富沙子 (金沢市 主婦・85歳)

にやられた人。結局、真面目に生きてきた普通の市民が犠牲になるのだ。

何もできない自分のうつうつとした気持ちのまま、回覧板を持って、庭先に目をやった時、はっと気付いた。「こんなツツジ、わが家にあったかな」と。「淡いピンクだけだったはず」なのだが、花の色が濃い紫のものと混じって見事に二色が咲いているのだ。

大きくなった一本のツツジの木の異変にびっくりした。「しっかり生きろよ。変われるぞ、人間は」と示唆されているようだ。病をへて、ただらんと生きる自分を改めて考えた。

亀公子の《川柳ひと言》

ウクライナをめぐる戦争の様相が変わりつつある。プーチンの侵略戦争に対する拒絶反応が世界中にまき起ったものの、日がたつにつれ、今ではまるで代理戦争になって来た感がある。本来ならば国連が間に入って停戦のために力をそがなければならぬのにその気配がさっぱり見えない。中国も横を向いたまま。誰かプーチンと直接会って戦争を止めるようガツンという骨のある人間はいないのだろうか？

ウクライナの惨状は眼に余るものがある。この戦争で利益を上げているのは軍事産業だけだ。戦争ほど非生産的な産業はない。同じ仲間を殺戮のつばに放り込んで、強い者だけが生き残ればよいという権力者の思いつきは、過去の歴史から学ばない低俗な人間の所業であり、平和な世界を希求して来たもう一方の人間の在り方とは相容れない存在と断言できよう。

この地球上で人類は一つの家族である。ならばお互いに譲り合い助け合って生きる方がどんなに前向きで

理になつていくか知れない。宇宙人から見ると地球に住む我々は地球人だ。

疑心暗鬼で巨額の軍備を持ち合つて殺し合いに備えている我々地球人を彼らはどう眺めているだろうか。もしかして、こう囁き合っているのかもしれない。「あの世界中の軍事費を人類の平和と自由のために使つたなら、飢餓や貧困に苦しむ仲間がみんないなくなるのにねえ」と。

鶴彬が十五歳の時に読んだ川柳に「悲しい遊戯を乗せて地球は廻る」というのがある。当時の彼が何を想定してこの句を読んだかはわからない。しかし、今我々是我々の現実と向き合つ中で思ふことは、戦争や飢餓、貧困、差別、格差などの不条理にいつも苦しめられる者の生きざまを「悲しい遊戯」の「地球」に例えることが出来はしまいか。

日本は軍事費を今までの倍の一〇兆円にして尚且つ改憲に野党も引き入れ時計の針を戻そうとしている。「手と足をもいだ丸太にしてかえし」の時代が来ない日を願うばかりである。

遠田 亀公子

第 27 回『鶴彬』川柳大賞募集

自由と反戦をつらぬいた魂の川柳作家『鶴彬』。彼の思いを受け継ぐ川柳を全国から広く募集します。

主催：鶴彬を顕彰する会・かほく市川柳協会

後援：かほく市教育委員会・かほく市文化協会・全日本川柳協会
石川県川柳協会・和川柳社・北陸中日新聞

募集要項【作品募集】

◆作品内容「現代を鋭く風刺した、新しい感覚の川柳」

選 者 赤池 加久（石川県川柳協会会長）
岩佐ダン吉（大阪 あかつき川柳会会長）
植竹 団扇（東京 川柳成増吟社会長）
佐藤 岳俊（岩手 岩手県川柳連盟顧問）
高鶴 礼子（埼玉「ノエマ・ノエシス」主宰）
遠田亀公子（石川 かほく市川柳協会幹事）

- 応募規定
- 1 自作の未発表作品に限ります。応募資格は問いません。
 - 2 応募用紙は自由、楷書で明確にお書き下さい。応募点数は1人2句以内とします。
 - 3 二重投句、また投句後の作品の訂正、差し替えはできません。また、同一作品、酷似作品が先行して発表していた場合は、入選・入賞を辞退していただきます。
 - 4 氏名、住所、性別、電話番号を明記してください。雅号の場合は本人名を併記。
 - 5 作品の返却はしません。＊入賞作品の使用権は主催者に帰属するものとします。

投 句 料 一人金1000円 ＊代金は小為替で（切手不可）作品に同封して下さい。

応募期間 2022 年6月1日（水）～7月 31 日（日）当日消印有効

選考方法 各選者の持ち点数を加算した総合計点により順位を決定します。

- 賞 表 彰
- 1 鶴彬大賞（1句）・表彰状＋1万円相当のかほく市特産品を贈呈。
 - 2 優 秀 賞（3句）・表彰状＋5千円相当のかほく市特産品を贈呈。
 - 3 佳 作 賞（5句）・3千円相当のかほく市特産品を贈呈。
 - 4 入 選 賞（若干）・記念品を贈呈。

発 表 9月 14 日（日）「第 24 回鶴彬をたたえる集い」碑前祭会場で発表。
投句者全員に、後日入賞、入選作品の使用権は主催者発表誌を送付。

応 募 先 〒 929-1215 石川県かほく市高松ク 42 番地

かほく市高松公民館「鶴彬川柳大賞」応募係

問合せ先 かほく市川柳協会 事務局・小山宏助気付

電話 / fax 076-281-1201 携帯 090-4323-1754

Email : turuakira@yahoo.co.jp

連載

東京災難畫信

竹久夢二

八、骨拾ひ

氣狂日和の黒い雨雲が低く垂れて死體を焼く灰色の煙が被服廠の空地をなめるやうに匍つてゐる。人間の命の果敢さを感じるには、まだ私達はあんまり凶暴な惨害の渦中にゐるのだが、諸々に高く積まれた白骨の山を見ると、今更のやうに、大きな事實を感じずにはゐられない。

白骨の山の一つ一つには「緑町附近避難者」とか「横網附近避難者」とか書いた立札がしてある。近親や遺族の人達であらう、骨の中から骨を拾つてゐる。さすがに女は、箸を投げ出し、袖に顔を被ふて泣きくづれる人もあった。

私にしても、この中に知人友人の幾人かがあるかも知れないのだ、祭壇の前で思はず帽子をぬいだ。

淺草橋まできて、乗合自動車に乗らうとすると、ぎつしり人でつまつた中へ、我先に乗らうとするひしめき様、ここにも被服廠の縮図がある。疲れきつた自動車が、たまたまパンクすると、さあ切符を返せといふ騒ぎ。



都新聞

大正十二年九月二十一日 金曜日

戦争前夜の竹下夢二は2020年会報9月号〜11月号参照

連載

戦争前夜抄

周立東爺

39

「軍事教育批判」で

大学を追放される

鈴木義男
その4

鈴木義男はなぜ大学を追われ、弁護士になったのだろうか？

『読売新聞』1928（昭和3）年4月18日に報道された記事がある。鈴木教授も載った「學府に弾壓加はる」という記事。内容は、京都帝国大学教授の河上肇、東京帝国大学助教授の大森芳太郎と並んで、東北帝国大学教授の鈴木義男も辞表を提出したとされている。

この時、辞表は提出されていないが、翌（昭和4）年12月、東北帝国大学評議会（同大学の各学部の代表者から構成される最高意思決定機関）で、鈴木義男の辞職について議論され、鈴木に対して「再び教壇に立たせザルコト」、時期を見て「辞表」



を提出させることと病氣療養させることを決めている。なんとも情けない処理であるが、その発端となったのは、1924（大正13）年12月上旬に数度にわたり『河北新報』に連載された鈴木「軍事教育批判」であった。

こうした経緯をたどり、鈴木は大学を追われた。すでに弁護士資格を持っており、東京へ出て弁護士として第一歩を始めることになる。こうした資料は東北学院大学に残されている。

1930年6月頃には弁護士事務所を開設し、多くの事件を担当している。次第に実績を上げたのだが、鈴木を有名にした事件があった。「帝人事件」（株式売買をめぐる疑獄事件）、「志賀暁子墮胎事件」がある。有名女優の「墮胎事件」は懲役2年・

執行猶予3年の判決が下されたが、判決後の新聞で、鈴木の手護が大きいと報じられている。そして先号に紹介した治安維持法事件が続く。(つづく)

治安維持法の犠牲者や遺族は、 戦後なぜ国を訴えなかったのか？

以下の稿は、鶴彬を顕彰する会の通信『はばたき』最近号に投稿したものです。

ご意見、情報提供をよろしく。

周立東爺

「戦争前夜抄」で連載を続けてきて39回となりました。「獄死」した鶴彬にも関係すること、どうしても分らないことの1つが、『治安維持法の犠牲者や遺族は、戦後なぜ国を訴えなかったのか?』ということでした。

当時数十万人が逮捕され、7万人が送検、400人(一説に1500人)が獄中死と言われています。敗戦直後、特高治安体制は解体されました。(注

1)しかし肝心の犠牲者への謝罪や補償のようなものはありません。これは欧州とは真逆です。ドイツやイタリアでは反戦やレジスタンス犠牲者は顕彰され、年金が手厚く支給されていますし、ナチスの指導者の戦争犯罪には時効はなく、追及は国境を越えて今でも続けられています。

戦後日本、出来たばかりの新憲法に国家賠償請求権(17条)、補償請求権(40条)、公務員による拷問・残虐な刑罰禁止(36条)が書かれています。

画期的なこの憲法に基づいた犠牲者を救援する運動体「国賠同盟」が1968年に結成されました(注2)。しかし国賠同盟が結成されるまで敗戦から23年も経っています。新憲法成立を機に犠牲者の遺族・家族が全国で提訴する可能性もあったはずなのです。この間、犠牲者や家族・支援者たちはどうしていたのでしょうか?もし裁判が全国で起こされていれば、治安関係者が後に出世し、各地の警察幹部や政治家、最高裁判事になることはなかったでしょう。これらを調べています、まったく手がかりが見つかりません(注3)。

治安維持法違反数（司法省調）

	検 挙 送 数 局 者 数	起訴者数
1928年	3,967	525
29	5,308	339
30	6,877	461
31	11,250	309
32	16,075	646
33	18,397	1,285
34	5,947	496
35	1,886	114
36	1,396	139
37	1,294	207
38	552	101
39	319	90
40	632	149
41	934	156
42	329	145
43	269	
44	170	
45	79	

計 75,681 5,163

梨木作次郎「道ひとすじ」より

赦で収監されませんでした。

【注4】敗戦直後の8月20日、大日本弁護士会連合会は司法大臣と総理大臣宛に「治安維持法違反、不敬罪その他その内容が今後の国際修好に不都合をきたすおそれのある事件の訴訟記録は焼棄すること」を建議、それを機に全国で資料が燃やされました。（「正木ひろし著作集」171）

見つからない理由は、全国で特高警察、治安検事、裁判所、弁護士事務所等で治安維持法事件の資料が焼却処分されたことがあります（注4）。

また、占領軍・GHQにすれば治安維持法事件被告が全国から何千人も釈放されるのですから、その対策の通知を出して犠牲者の動きも把握し、さまざまな動きがあつたはずですが、資料が発見できません。

しかし、そうした資料は、アメリカの国立公文書館に保存されているはず。最初はたんなる思いつきだったのですが、その可能性を調べ始めました。

なんとアメリカの公文書公開制度は、海外からでも国立公文書館へ公文書の請求が可能なのです。実務的には高いハードルがあるのですが、今の準備を進めているところです。（了）

【注1】1945年10月4日、GHQが「政治的、公民的及び宗教的自由に対する制限の撤廃に関する覚書」を発表。警察首脳陣と特高警察官吏が解体されました。

【注2】1968年、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟結成。「3・15事件」（特高警察による大弾圧事件）四〇年を記念して結成。全国の犠牲者の実態調査や全国自治体へ請願運動。

【注3】例外的に横浜事件で被告が特高警察官を提訴し「犯人」は有罪となっています。しかし新憲法成立特

編集後記を兼ねて

◆未知子さんから点の付け方で提案です。

●課題吟も自由吟も「◎」は投句数の違いを無視して「3句以内」となっていますが、不公平ではないでしょうか。せめて4句、いや5句以内にしてみたいのではないかとずっと考えています。みなさんのご意見をお聴かせ下さい。(未知子)

「鶴彬を顕彰する会」の通信「はばたき」の購読をおすすめします。年購読／2000円です。

6月例会ご案内(毎月第4木曜日)

◆例会 6月23日(木) ◆投稿×切:20日(月)

◆課題「声」3句以内 ◆自由吟:5句以内

◆自選吟、連作、エッセイ、川柳論などもよろしく。

◆オミクロン株警戒で例会は誌上となります。

●投稿FAX(076) 254-0762

●メールアドレスは下段に。

郵送は
下段住所へ。

▼ウクライナの戦争。収束の兆しも見えません。プーチンを生んだロシアの政治や社会について種々に議論がされています。▼日本では「危機」を煽り、国民民主党まで取り込んで、緊急事態条項を盛り込んだ憲法に変えるべく、右派論客がテレビや新聞雑誌に毎日のように登場。日本を「戦争が出来る国」にしようと躍起になっています。▼今月末に公示される参院選は日本の姿が変わる転換点になるかもしれません。これを許さない声をあげたいものです。(周)

「和川柳社」会報
会員募集しています!

同人:4000円/年
投句/購読:2000円/年

★会報の他に、関連資料などもお送りします。

和川柳社 〒920-0335 金沢市金石東2丁目15-30(3-2) (渡辺 寛)

電話 FAX: 076-254-0762 PC-mail: kananabe@popolo.org

携帯: 090-9445-1302 携帯 mail: kan-wata@i.softbank.jp

振込先: 北國銀行中央市場支店 #191 普通 640 「和川柳社」

発送に協力いただいています。

▼《食育のグリーンノート&土の音工房》オカリナ制作・上村彰